

○本時に育成したい資質・能力

場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。

[思考力、判断力、表現力等] C(1)エ

○本時のめあて

場面の様子に着目して、「がまくん」や「かえるくん」の行動や会話について具体的に想像して読み、付け足しの一言を考えている。

○本時の展開 (めあて、学習課題、学習活動、児童生徒の反応予測・思考の流れ、板書計画、ICTの活用方法等)

① 学習のめあてをもつ (3分)

・単元のゴールに向けて、さらに想像を広げて読めるように付け足しの一言を考えることを確認する。

大すきなところをもっといっぱいそうぞうして読んで、つけ足しの一言を考えよう。

②前時を振り返り、付け足しの一言を考えるためのポイントを確認する。(4分)

例) 何回も読む・友達と交流する

③ペーパーサートを使いながら、何度も音読し、付け足しの一言を考え、付箋に書く。(20分) (A②・B②)

【困り感に対する支援】

・どんな風に付け足しの一言を考えればよいかわからない。  
→教師の見本のビデオを見るように促す。(ICTの活用)  
→付け足しの一言を考えられた子どもにどんな風に考えたのかを聞き、共有する。  
・付け足しの一言が本文から離れすぎている。  
→本文を読んでから付け足しの一言を考えることを確認する。

・自分で考えることとペアで交流することを繰り返す中で、想像を広げていけるようにする。

『よていひょう』



○二つの側面、三つのプロセスとの関係

二つの側面

A…主に文章や図、グラフから読み解き理解する力

B…主に他者とのやりとりから読み解き理解する力

三つのプロセス

①…発見・蓄積 必要な情報を確かに取り出す

②…分析・整理 情報を比較し、関連付けて整理する

③…再構築 自分なりに解決し、知識を再構築する

- ・場面の様子に着目し、登場人物の行動や気持ちを具体的に想像し、付け足しの一言を考えている。(A②、B②)
- ・付け足しの一言の中から、とっておきの一言を決め、自分の考えを明確にできるようにする。(A③、B③)

④想像した付け足しの一言の中から、とっておきの一言を決める。(3分) (B③・A③)

⑤付け足しの一言を加えて、好きなところのペーパーサートを発表する。(5分) (B③・A③)

・今日の学びをみんなで確認する。



「ぼくのよていひょうではね、ぼくたちがおさんぼするようになっていよ。もちろん、いっしょにおさんぼ行ってくれるよね！」

⑥ペーパーサートを使って音読している姿をタブレットで録画する。(7分)

⑦学習を振り返る (3分)

・本時を振り返って、次の時間に何ができるようにしたいかを考える。

つけ足しの一言が考えられたから、もっとなりきってペーパーサートができるようになります。

